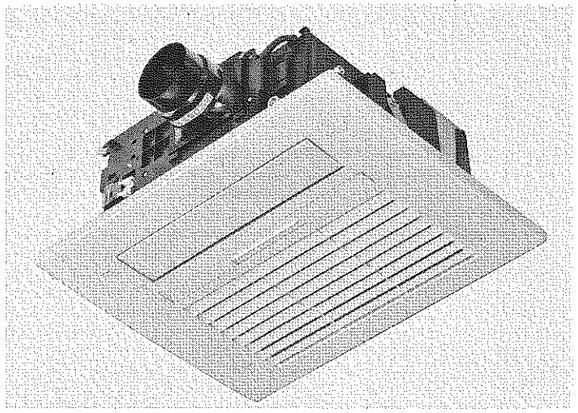
住設・供給機器　新技術

浴暖新製品

センサーで温度調整

リンナイ　カビ抑制機能も



カビ成長抑止機能を搭載したRBHMシリーズ

リンナイ（本社・名古屋市、内藤弘康社長）は10月1日、業界で初めて浴室を自動で温める温水式浴室暖房乾燥機を発売する。人の動きを感知する人感センサーと温度センサーの制御により暖房運転を自動で最適化、ヒートショック対策にも効果がある。スタンダードモデルのほか、東邦ガスと共同開発したカビの成長を抑制するミスト機能搭載のモデルも揃う。

新製品は、事前に浴室を自動で温める「安心暖房」の設定に対応。毎日の入浴時間を学習し有効時間（初期設定は17～23時）内で自動運転する。入浴30分前に浴室内が設定温度になるまで暖房運転を開始、入浴中は浴室内温度や風向きを自動制御し、退室後は運転を停止して乾燥や換気を行う。業界初の人感センサーと温度センサー搭載で実現、冬場のヒートショック防止につながる。

スタンダードモデル（RBHシリーズ）とミストサウナ対応モデル（RBHMシリーズ）の二つのシリーズがあり、それぞれ換気室数に応じて全6種類の型式が揃う。RBHシリーズの税込み希望小売価格は13万6400円～17万8750円、RBHMシリーズは同26万4千円～28万4900円。

RBHMシリーズは東邦ガスと共同開発した「カビガードミスト」機能を搭載し、カビの成長を抑制する効果がある。リンナイが全国の20～60代を対象に行ったカビに関する意識調査によると回答者の8割以上が浴室内のカビ汚れに悩むと回答。2週間に1回カビガードミスト機能を運転するだけで浴室内のカビの成長を99・9%抑えることが可能となり、家事の負担軽減にも貢献する。

メーター復帰や開閉栓

サイト作成支援を充実

シーエスクリエイト

LPガス事業者の販促支援を行うシーエスクリエイト（本社・千葉市、島﨑浩志社長）は、中小規模の事業者をさらにサポートするため「ホームページかんたんパック」の「バージョン3」をリリースした。

かんたんパックは、自社サイト未開設の事業者を対象にしたサービス。企業の基本情報や事業内容などが掲載されたシンプルなサイトを制作する。

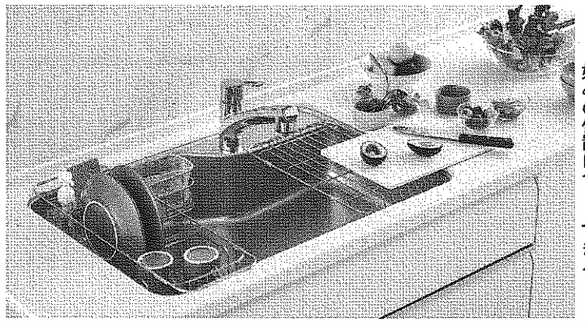
今回、内容を充実させ①マイコンメーターの復帰方法②LPガスの特性、安全管理と点検責任など③入退去時の開栓・閉栓の手続き――を解説する3種のページを加えた。

価格は従来から据え置きで、初年度費用は税込み2万9800円から。同サービスを購入済みの事業者にも、今回の追加コンテンツを新たに提供する。

コロナ禍で消費者の在宅時間とインターネットの利用が増えるなか、事業者に自社サイトの保有を通じて顧客からの信頼獲得などに役立ててもらう。

L型バー、配置自在に

タカラ「らくエルシンク」

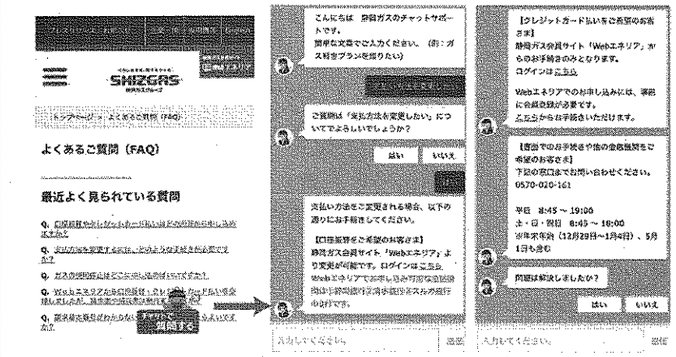


好みの位置にセットできる

タカラスタンダード（本社・大阪市、渡辺岳夫社長）は8月30日、小物置きやごみポケットなどをシンク内に付属するL型バーを好きな位置にセットできるステンレス製の「らくエルシンク」を発売した。システムキッチン「エーデル」や「リフィット」のオプションとして選べる。

特徴は▽自分らしくカスタマイズして使"エル"▽大きなフライパンがゆったり洗"エル"▽L型バーで家事が"らく"になる▽きれいキープ――の4点。奥行きは28センチのフライパンがまっすぐ洗える長さ。排水溝が奥にあるので洗い物を置きやすい。簡単に小物置きの位置を変えられるので掃除が簡単。汚水が逆流しにくく、排水口がステンレス一体型成型で手入れしやすい。

エーデル、リフィットとも税別1万4800円でステンレスシンクに追加できる（搬入・取り付け費は別途）。標準装備の小物置きのほか、オプションでごみポケット、まな板立て、水切り、水切りネットなどがある。



顧客が入力した質問にAIチャットボット「スグレス」が回答する

静岡ガスに導入

AIボット

KDDIエボルバ

KDDIの完全子会社でコンタクトセンターを中心としたBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）事業を手掛けるKDDIエボルバ（本社・東京、若槻肇社長）は静岡ガス（同・静岡市、岸田裕之社長）のウェブサイト内にAI搭載の高性能チャットボット「スグレス」を導入、構築し9月から運用を開始した。提供開始から10日間平均で正答率81%と高い成果を上げ、顧客からも好評を得ている。

スグレスは、ビッグデータ分析などデータソリューション事業を展開するアルベルト（同・東京、松本壮志社長）が提供する。静岡ガスのウェブサイトや会員サイトの右下に表示されるポップアップから質問を入力すると、AIが最適な回答を導き出し、チャット形式のテキストや画像で自動応答する。顧客は時間や場所を問わず、スマートフォンやパソコンから各種手続きや料金、サービス、機器・設備、会員サイトなどについて気軽に問い合わせでき、早期解決を後押しする。

自然言語処理エンジンと自動学習機能により、運用コストをかけずに回答精度が向上するほか、回答の信頼度に応じて柔軟に対応できるのが特徴だ。回答の信頼度が高いと判断した場合はダイレクトに回答するが、別の回答候補が想定される場合は質問や類似質問候補を提示する。

BtoCのデジタルチャネルとしてAIチャットボットの普及が広がると見据えるKDDIエボルバは、コンタクトセンターとチャットボットの構築・運用ノウハウをもとに、収集した顧客の声（問い合わせの理由）のコンタクトリーズン分析し、さらなる回答精度の向上に取り組む。

見込み客との取引開始を支援する「サスケ」のサービスイメージ

見込み客の固定ユーザー化支援

インターパーク　クラウドサービス

インターパーク（本社・東京、舩越裕勝社長）は、見込み客との取引開始を支援するクラウドサービス「サスケ」を提供する。オンラインとオフラインのあらゆる情報を統合し、有望な見込み客に適切な時期や手法でアプローチできるようにする。複数のLPガス事業者で採用実績がある。

見込み客の獲得から受注までをワンストップで管理する。名刺の情報、対面や電話での会話の内容や対応履歴、ウェブからのアクセス状況といった顧客情報を一元管理する。管理項目はカスタマイズ可能で、業態に合わせて運用できる。

既存のシステムなどから顧客データをエクセルやCSV形式でインポートでき、API連携も図れる。アプリやスキャン機器を用いれば、名刺など紙ベースの情報もデータ化して取り込める。

顧客情報から条件に当てはまる見込み客のリストを作成できる。導入意欲の高い見込み客に一括でメール送信するなどして営業展開を図れる。メール記載のURLへのアクセス解析やウェブページの閲覧履歴などを解析し、見込み客の関心度を点数化して推測する。関心度が高い見込み客は電話営業など次のステップに移れる。

CTI（電話統合システム）機能を実装し、システム上からワンクリックでIP電話がかけられる。

メキシコ業務用給湯器最大手メーカーを買収

リンナイの子会社で米国のタンクレス給湯器最大手リンナイアメリカ（ジョージア州）は1日、メキシコの業務用給湯システム最大手Industrias MASS SA de（インダストリアル・マス）社の全株式を取得した。今回の買収はリンナイグループ中期経営計画「New ERA（ニューイラ）2025」で策定した事業規模拡大の一環。

IM社は1964年設立、純資産は20年12月期で5億1700万円。メキシコ国内で業務用給湯器や水処理システム、業務用タンクの製造・販売

トーチバーナー

安全使用で料理楽しく

JGKAサイトで周知

日本ガス石油機器工業会（JGKA、片岡由好会長）は、ホームページの「ガス機器・石油機器の安全な使い方」のコーナーにトーチバーナーのコーナーを追加した。併せて家庭料理へのトーチバーナー活用術をまとめた特設ページを開設した。

あぶり料理や炭の着火など屋内外で便利に利用できるカセットボンベ式のトーチバーナーだが、接続部からのガス漏れなどでけがをするケースもある。JGKAはトーチバーナーの安全な取り扱い方法や注意点を明快に示し、事故の未然防止につなげたい考え。